

株式会社 イード

「2021年6月期（FY6/21）」

第1四半期 決算補足説明資料

2020年11月13日

iid






- | | | |
|---|------------------|------|
| 1 | FY21_1 Q業績の概要 | P.2 |
| 2 | 新型コロナウイルスの影響について | P.13 |
| 3 | セグメントの概要 | P.17 |
| 4 | 基本情報 | P.21 |



- 1** FY21_1Q業績の概要 P.2
- 2 新型コロナウイルスの影響について P.13
- 3 セグメントの概要 P.17
- 4 基本情報 P.21

税効果の影響で当期純利益※が大幅増。引き続き、コロナウイルスの影響はみられるものの、売上高は前年同期を上回った

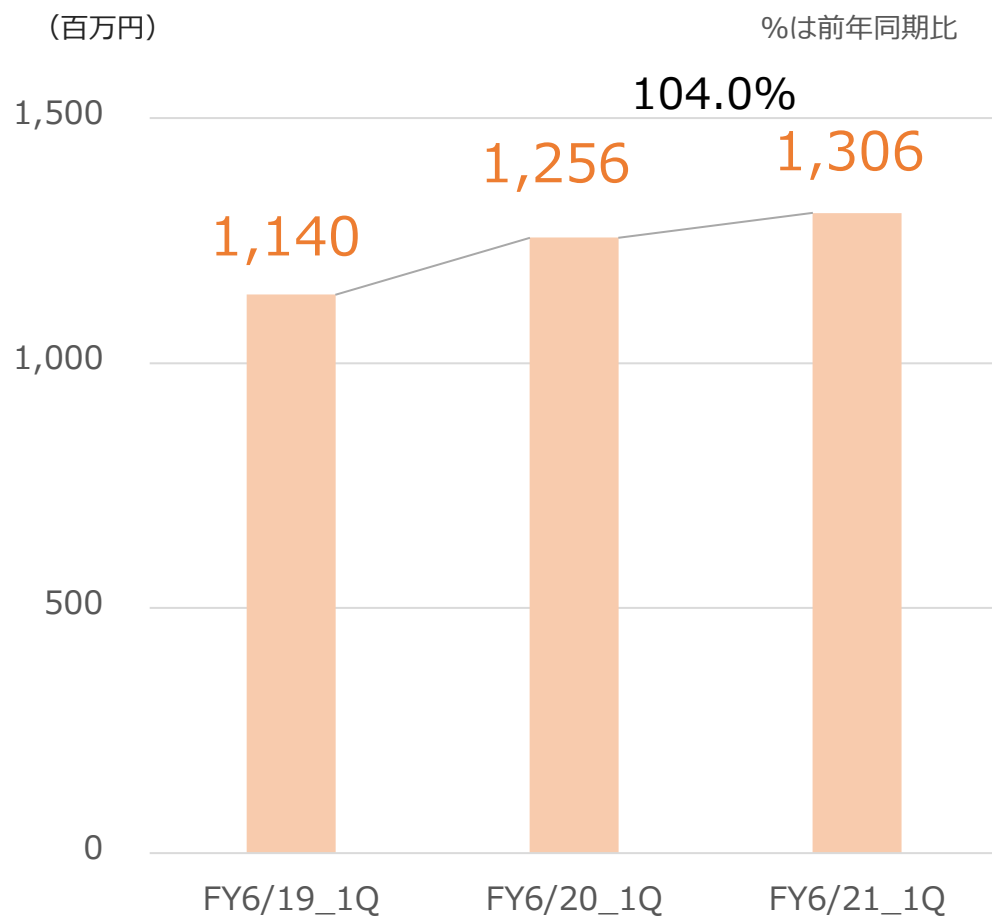
	FY6/20_ 1Q	FY6/21_ 1Q	前年同期比
売上高	1,256	1,306	 104.0%
売上原価	703	710	101.1%
売上総利益	553	596	 107.8%
販売費及び一般管理費	473	533	112.7%
営業利益	79	62	78.7%
営業利益率	6.4%	4.8%	-1.6pt
経常利益	77	64	83.2%
当期純利益	76	124	 162.5%

(百万円)

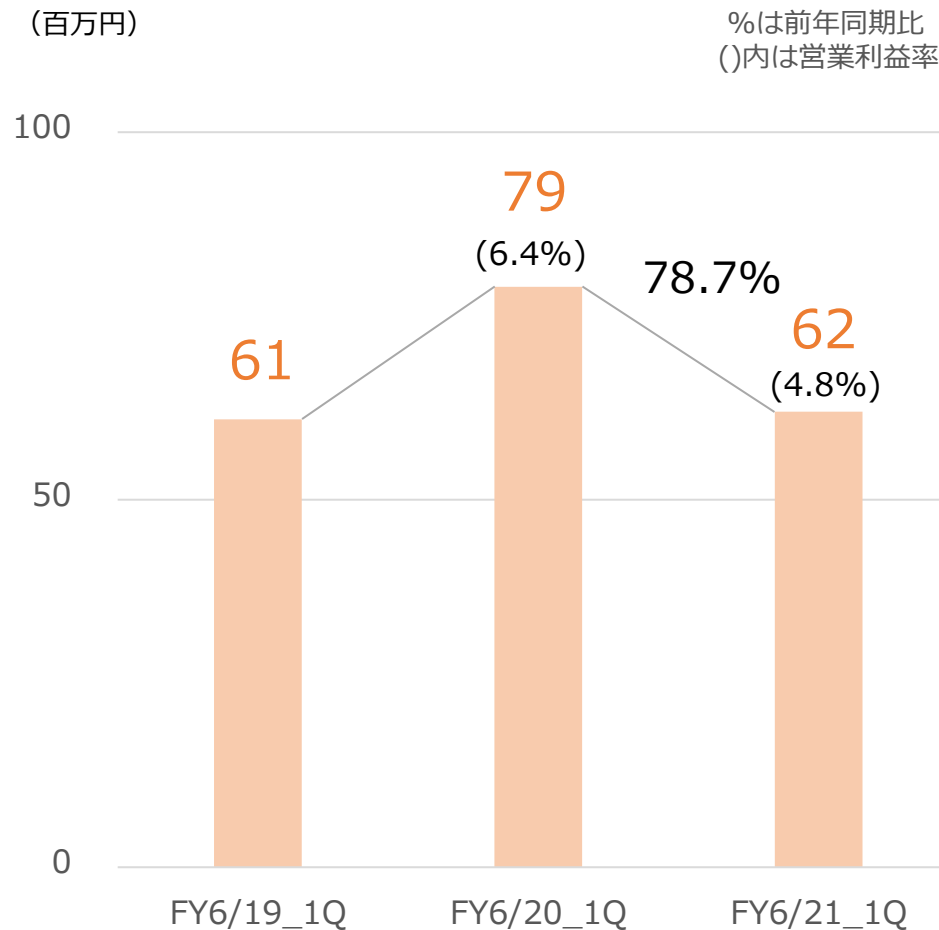
※当期純利益とは親会社株主に帰属する当期純利益のことです。

売上高は堅調に推移。コロナウイルスの影響があり、営業利益は前々期と同等

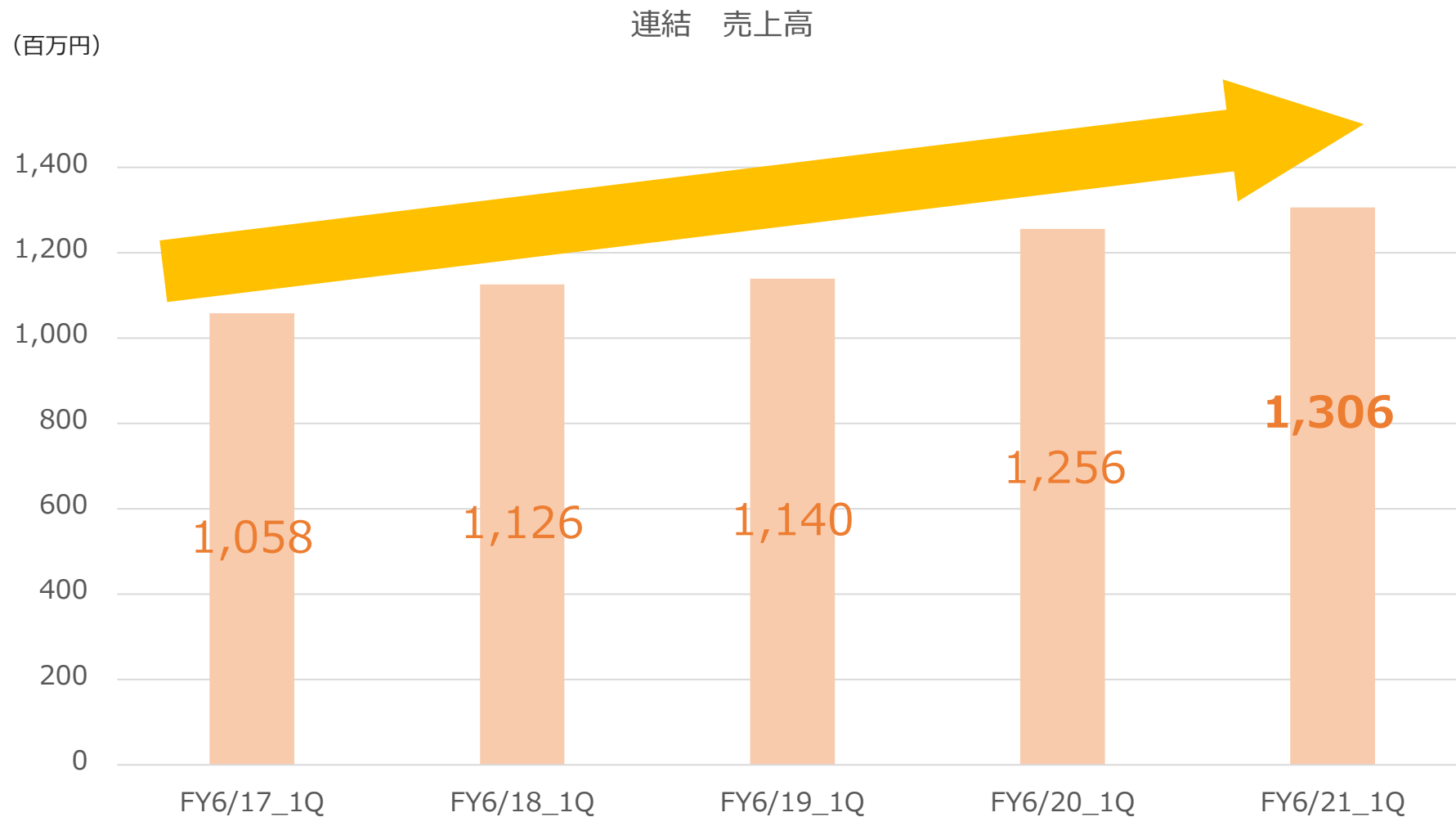
連結 売上高



連結 営業利益

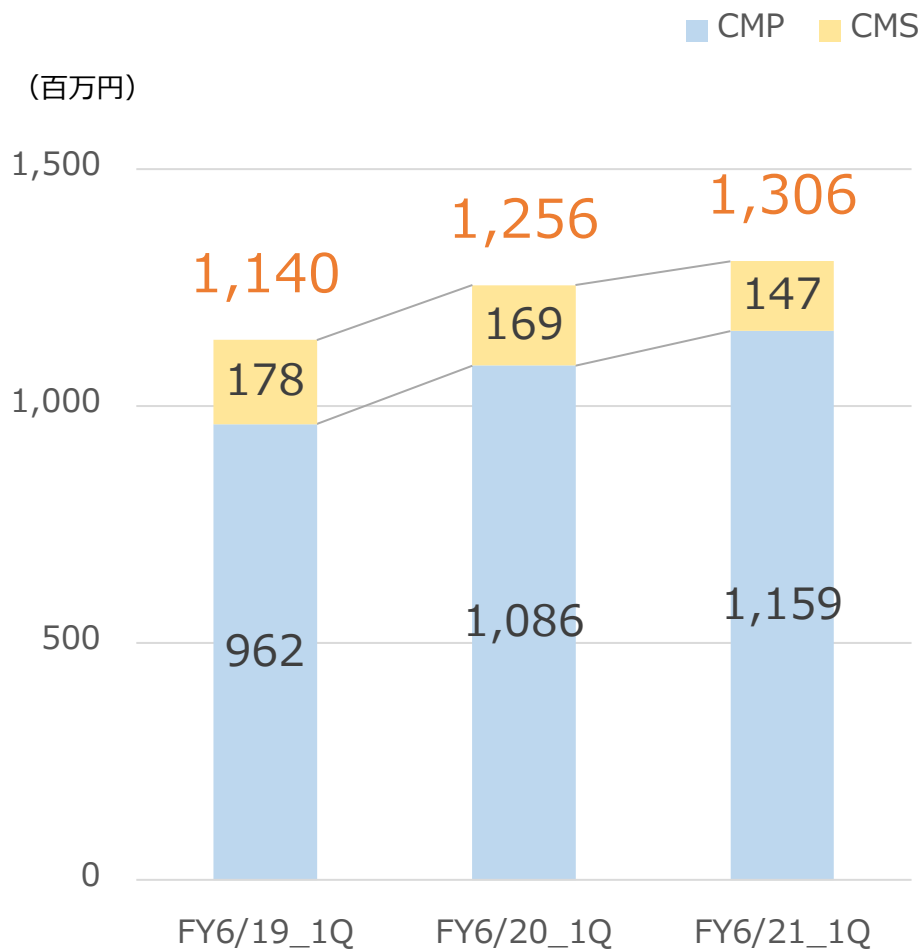


連結売上高は、過去最高を更新

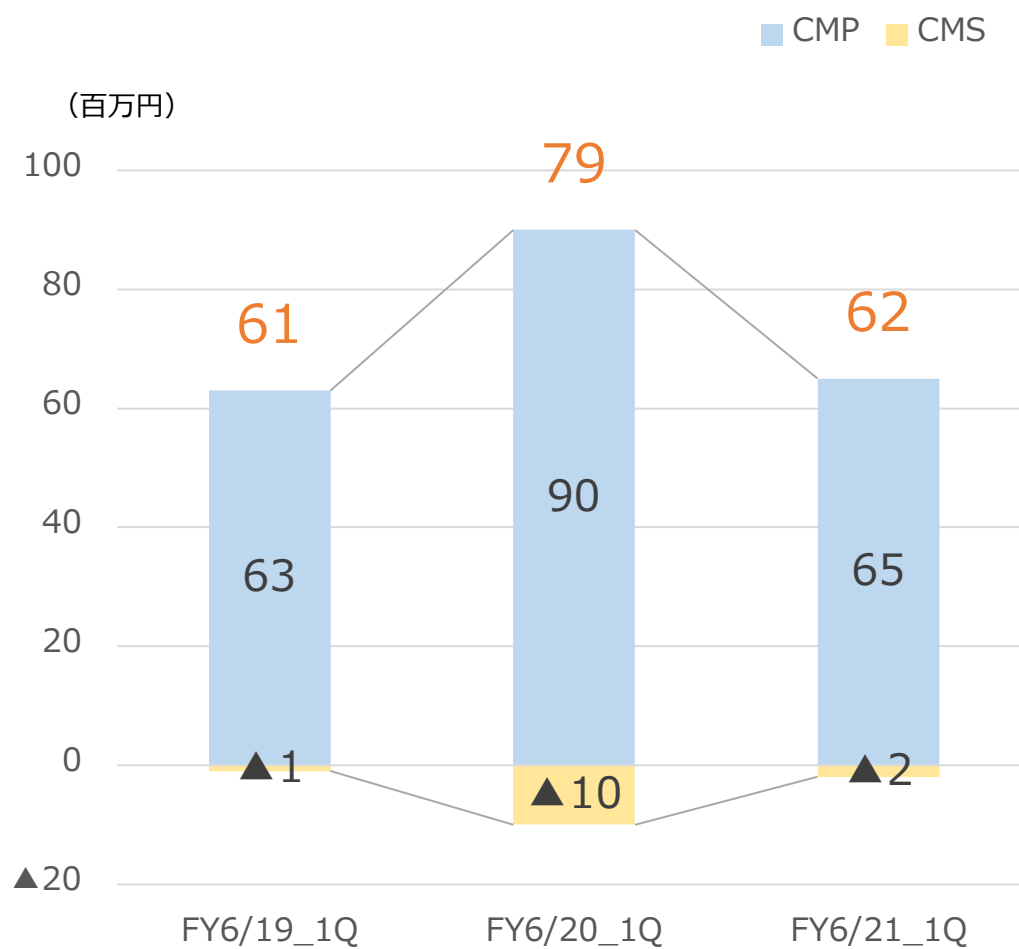


売上高、営業利益ともに従来どおりCMPが連結全体を牽引

連結 売上高

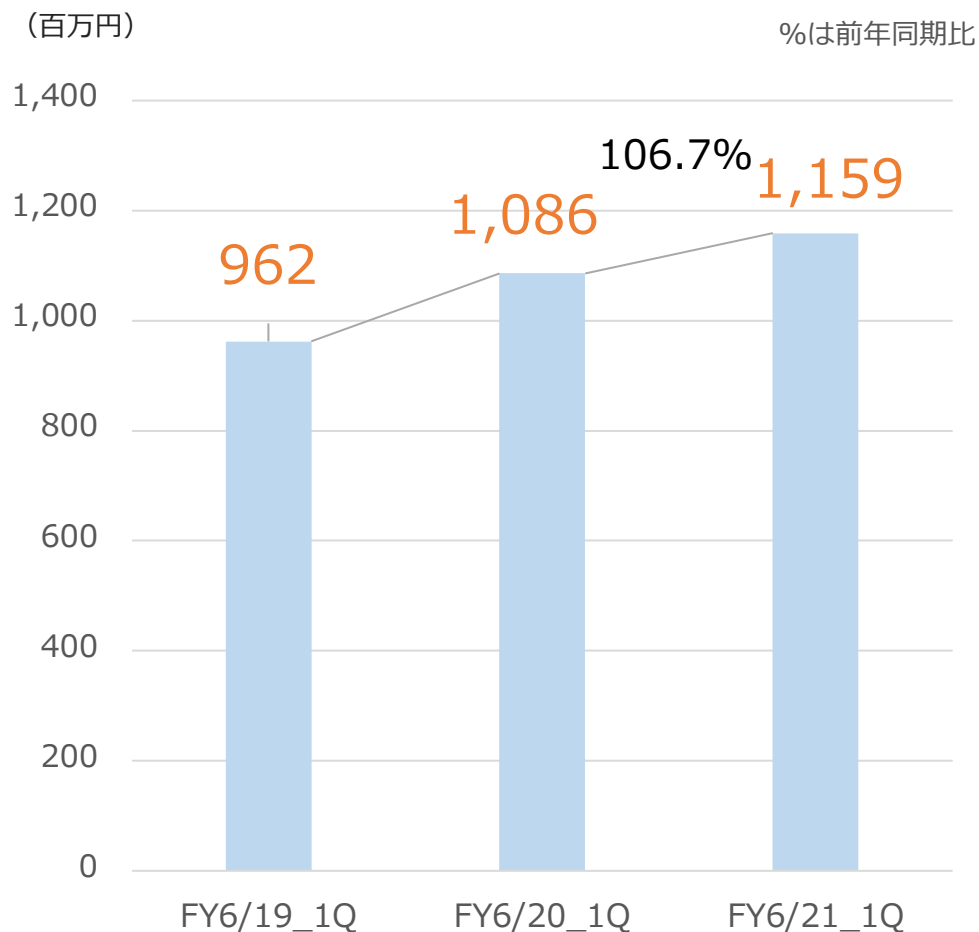


連結 営業利益

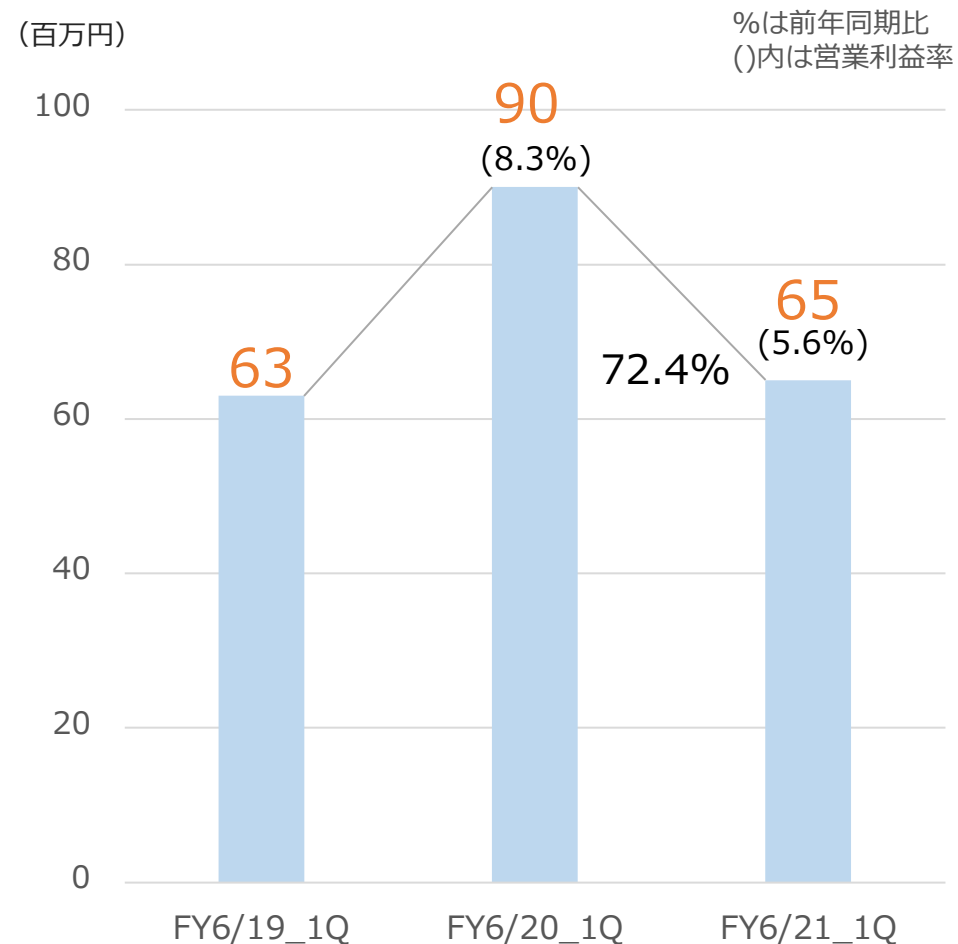


コロナウイルスの影響を受け営業利益は前々期並みであったが、売上高は堅調に推移。

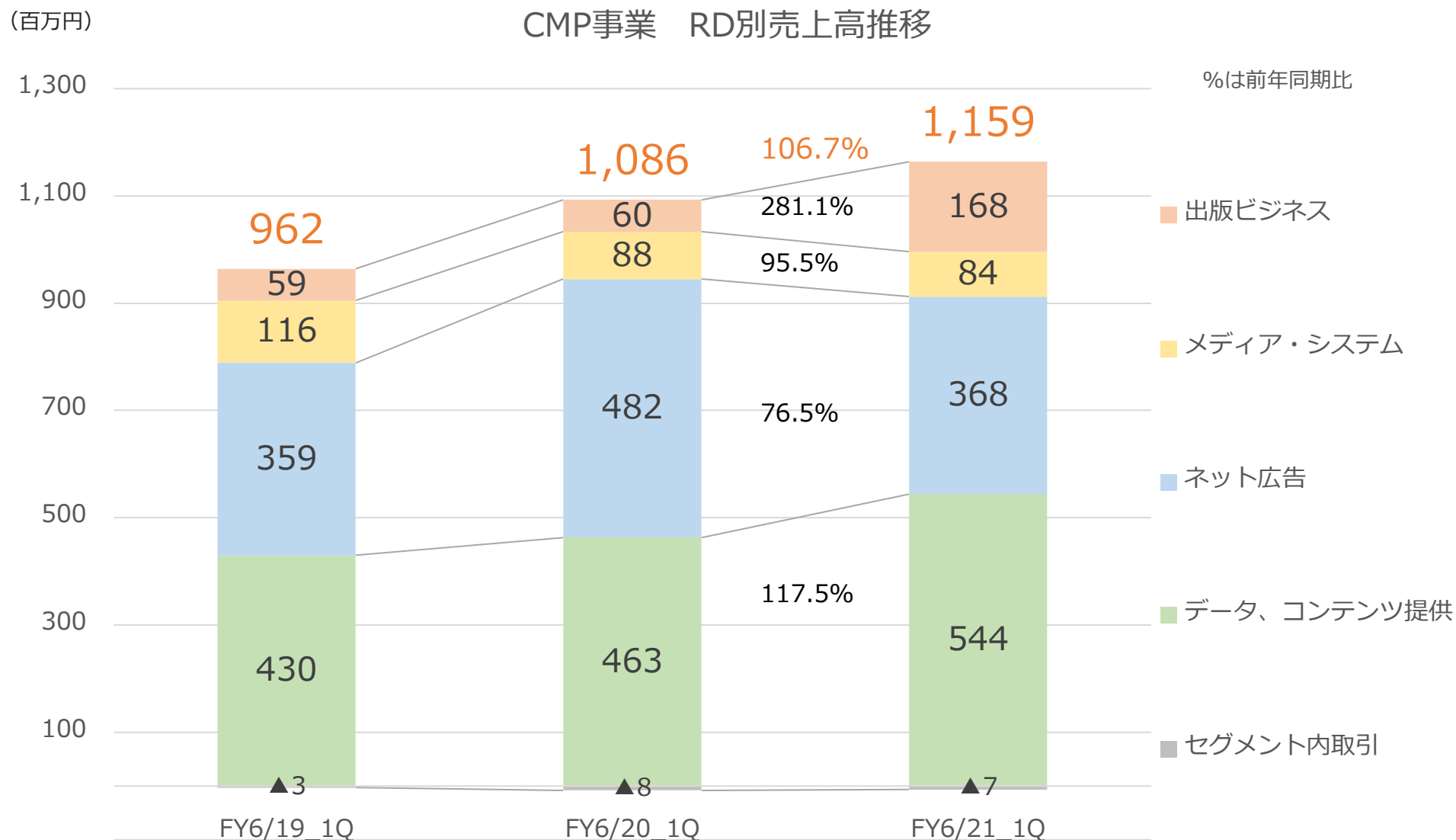
CMP 売上高



CMP 営業利益



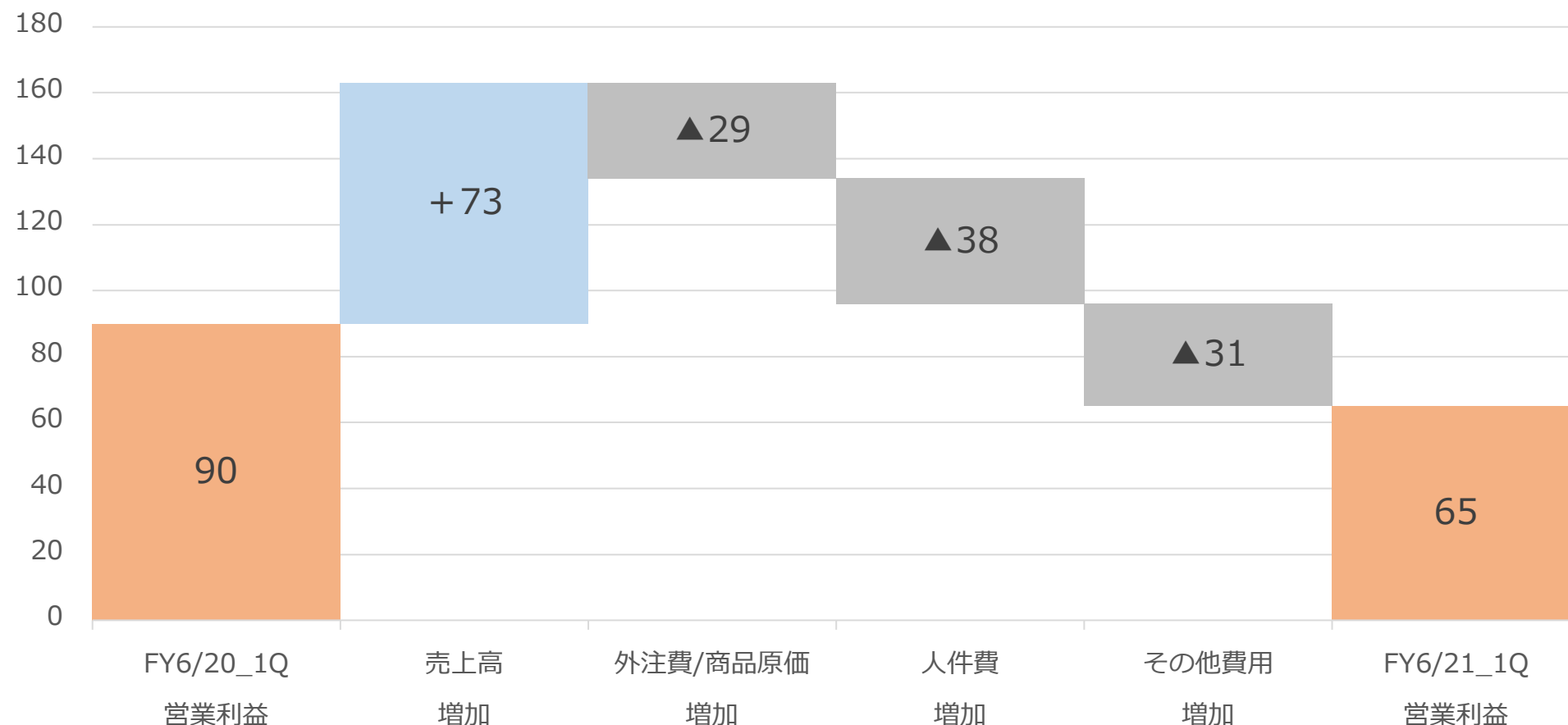
コロナウイルスの影響により、ネット広告は前々期並み。出版ビジネスおよびデータ・コンテンツ提供(EC物販含む)は大きく増加



売上高の増加に伴い外注費／商品原価の増加 前期および当期にM&Aした事業等による人件費の増加

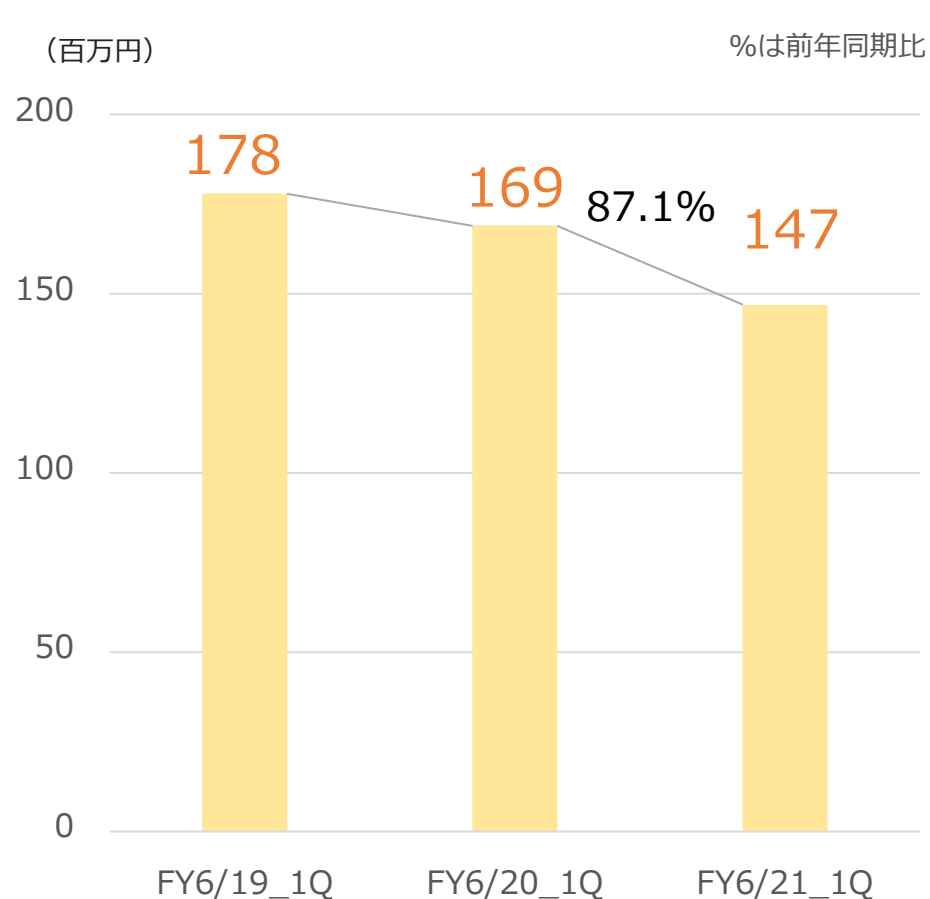
(百万円)

営業利益 前年同期比増減要因

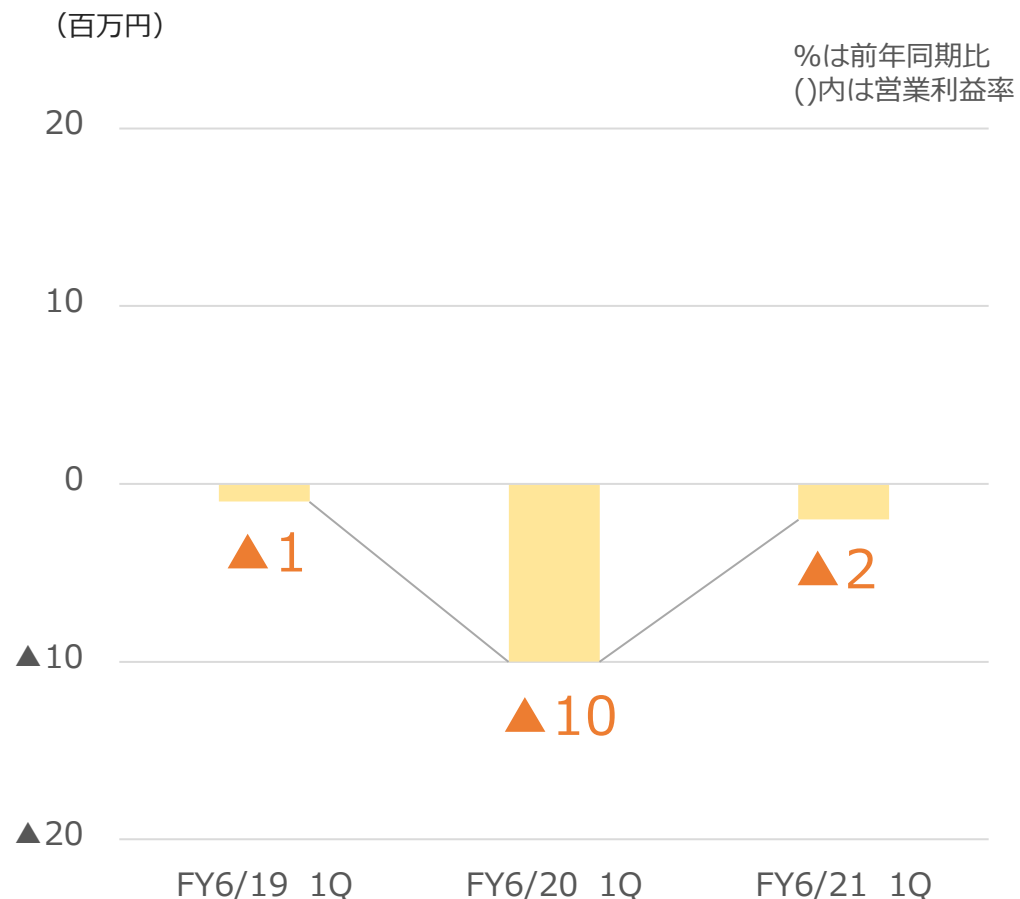


大型案件の受注減により売上高は減少したが、比較的利益率は高く 営業利益は前々期並みに戻した

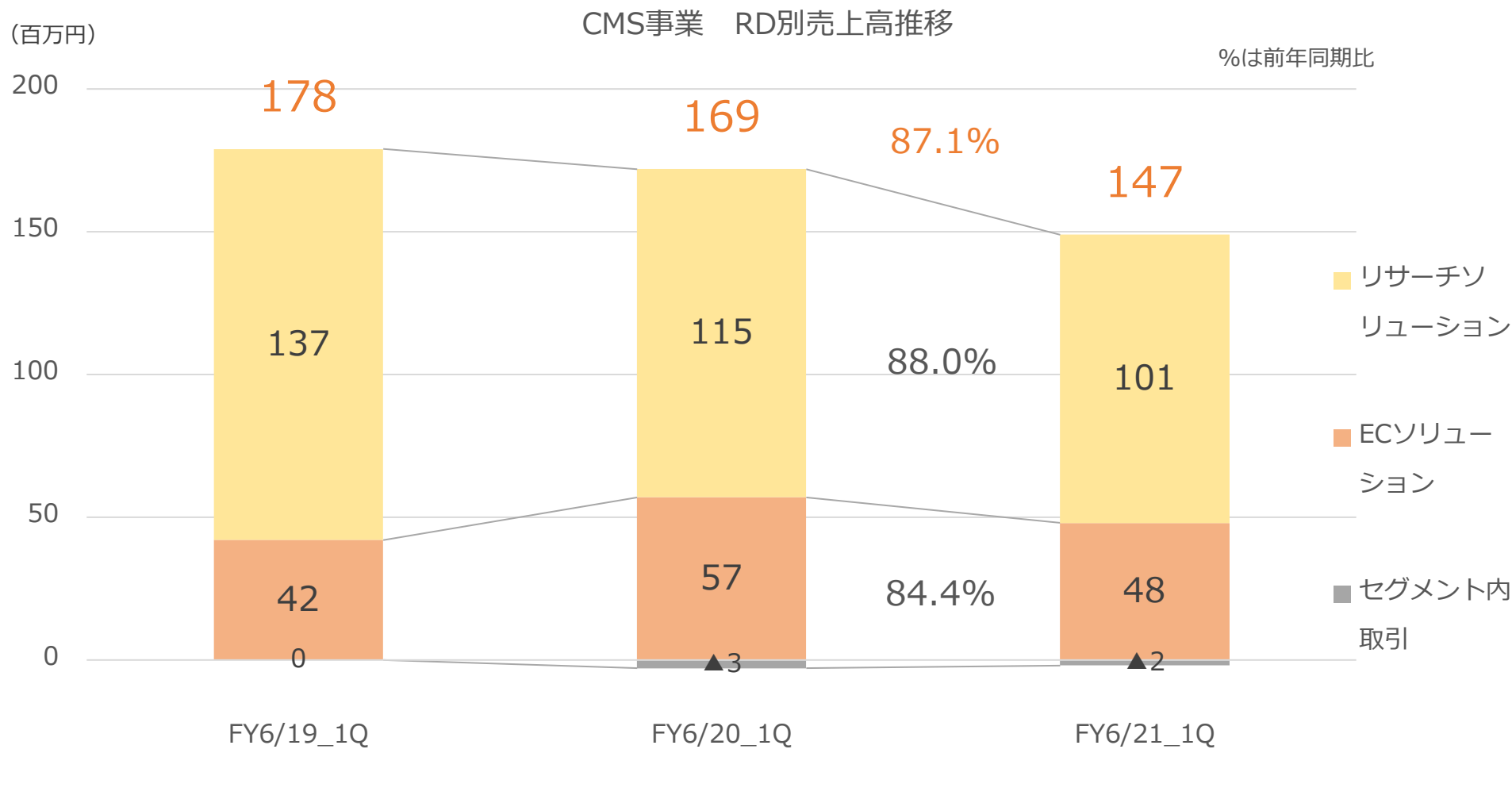
CMS 売上高



CMS 営業利益



リサーチ・ECソリューションとともに、前年より大型案件の受注が減少（リサーチは主にコロナの影響による）



当期純利益※の堅調な積み上げにより利益剰余金が増加し、純資産は増加

(百万円)




	FY6/20 期末	FY6/21 1Q末	増減額
流動資産	3,062	2,964	▲98
現金及び預金	2,014	1,869	▲145
固定資産	916	1,063	+147
のれん	264	277	+13
投資有価証券	301	332	+31
資産合計	3,978	4,027	+49
流動負債	859	791	▲68
固定負債	150	138	▲12
負債合計	1,009	930	▲79
株主資本	2,895	3,019	+124
利益剰余金	1,174	1,299	+125
自己株式	▲35	▲35	+0
その他の包括利益累計額	1	1	+0
非支配株主持分	72	76	+4
純資産	2,969	3,097	+128
負債・純資産	3,978	4,027	+49

※当期純利益とは親会社株主に帰属する当期純利益のことです。



- | | | |
|---|------------------|------|
| 1 | FY21_1 Q業績の概要 | P.2 |
| 2 | 新型コロナウイルスの影響について | P.13 |
| 3 | セグメントの概要 | P.17 |
| 4 | 基本情報 | P.21 |

■CMP事業セグメントの主要RDへの影響（1Q）

ネット広告		<p>◆政府の消費喚起施策もあり、広告出稿意欲はようやく回復傾向へ</p> <p>◆イベントはオンラインが主流、リアルは依然復活検討段階で、引き続き、取材・タイアップ・送客には影響が残る</p> <p>→ コロナ下でも効果的な広告企画提案、ユーザー課金などを推進</p>
データコンテンツ提供(含EC物販)		<p>◆「巣ごもり消費」から「EC定着化」へ</p> <p>→ EC物販事業は、前期4Qに引き続き好調を維持</p>
出版ビジネス		<p>◆「巣ごもり」の影響で「アニメ雑誌」「パズル雑誌」が好調（アニメ雑誌は「鬼滅の刃」ブームも追い風に）</p>

次ページ参照 

■今後の見通し

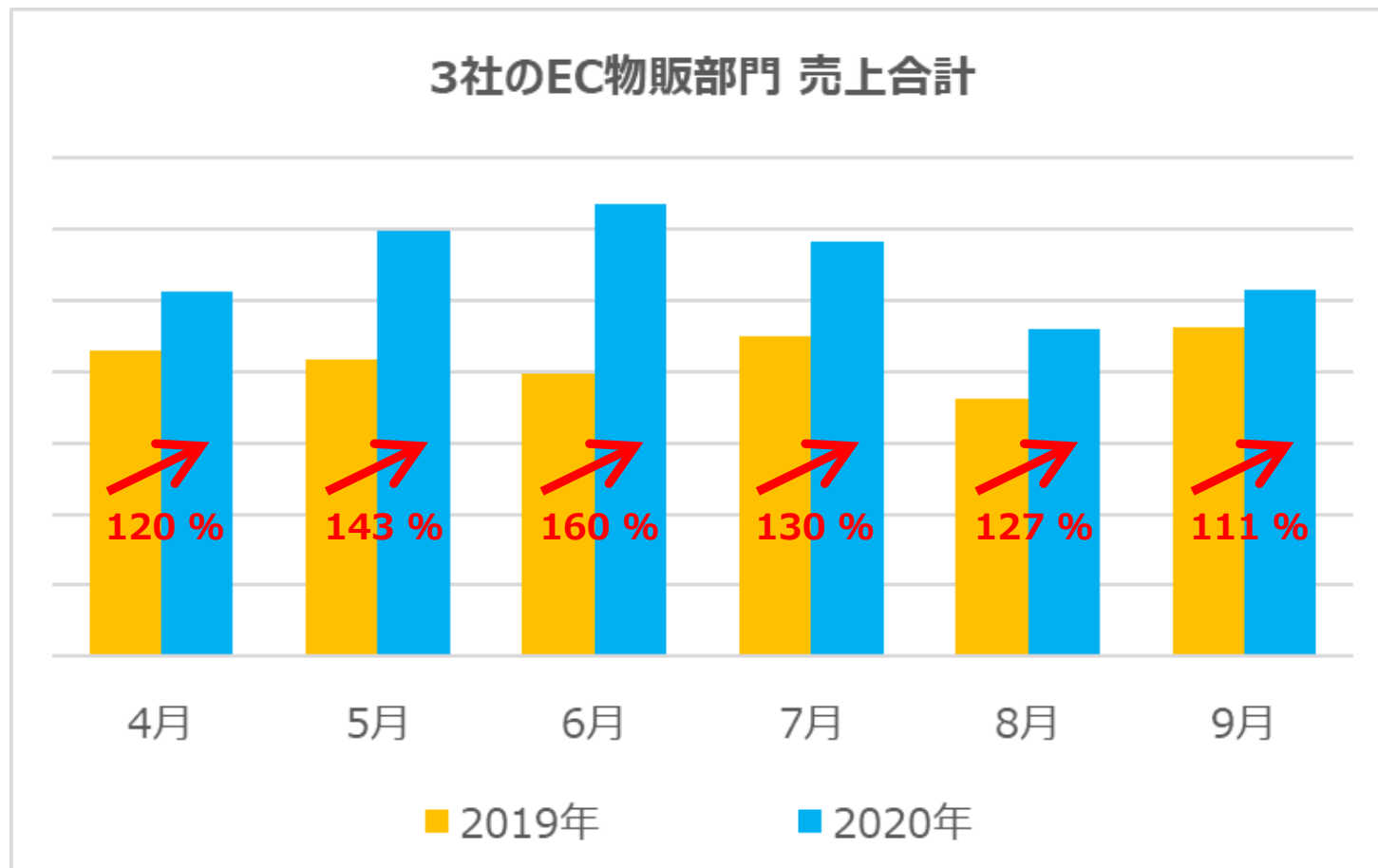
- ・新型コロナウイルス感染症は、7月以降急激に拡大したのち、いったん落ち着きつつあったが、10月以降再び感染拡大の局面となっている。欧米諸国の感染急拡大状況を踏まえると日本においても引き続き、市場環境への影響が不規則的に継続するものと想定。



現時点では、2021年6月期の業績予想は未定とし
合理的に予測可能となった時点で公表

■ 子会社3社のEC部門の売上実績（対前年同月比）

- EC部門のある3社（エンファクトリー、絵本ナビ、ネットショップ総研）のEC物販事業の売上は、7月以降も引続き、前年比で大きく伸びている。
（前年9月は消費増税前の駆け込み需要があったが2桁増）



■ 強固な財務基盤を生かし、積極的なM&Aを推進

- ◇メルカリより、自動車コミュニティ「CARTUNE」運営のマイケル社を取得・子会社化
- ◇スマホ回線情報サイト「すまアレ」を事業取得
- ◇ネットによる集金業務支援システム「enpay」を運営するエンペイと資本業務提携
- ◇プロトコーポレーションよりスクール情報検索サイト「グースクール」事業を承継
- ◇婚活マッチングメディア「Marriage Consultant」を事業取得

■ 本社オフィスに移転し、オフィス環境を一新へ

- ・社内業務体制：リモートワークが定着（出勤率は2割程度で推移）、事業運営に特段の支障なし
- ・社会トレンド：営業含む多くの業務がオンラインでの遂行にシフト・定着化



2021年1月 本社オフィスに移転予定（東京都新宿区 → 中野区）

- ・より柔軟で働きやすいオフィス環境 → 全社フリーアドレス化・リモートワーク継続
- ・より生産的な業務環境へ → 一層のデジタル化推進
- ・オフィス総面積の縮小等 → 家賃コストの大幅削減

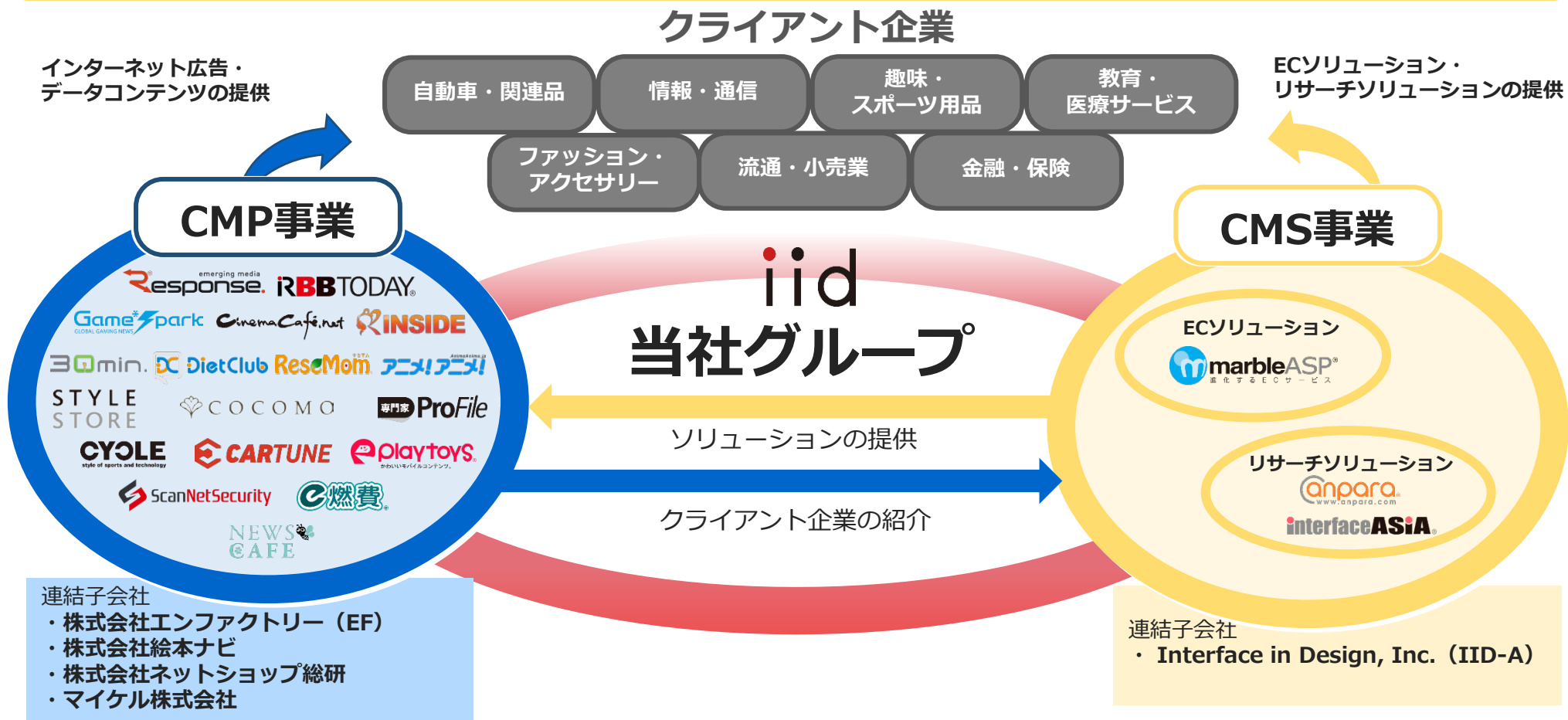


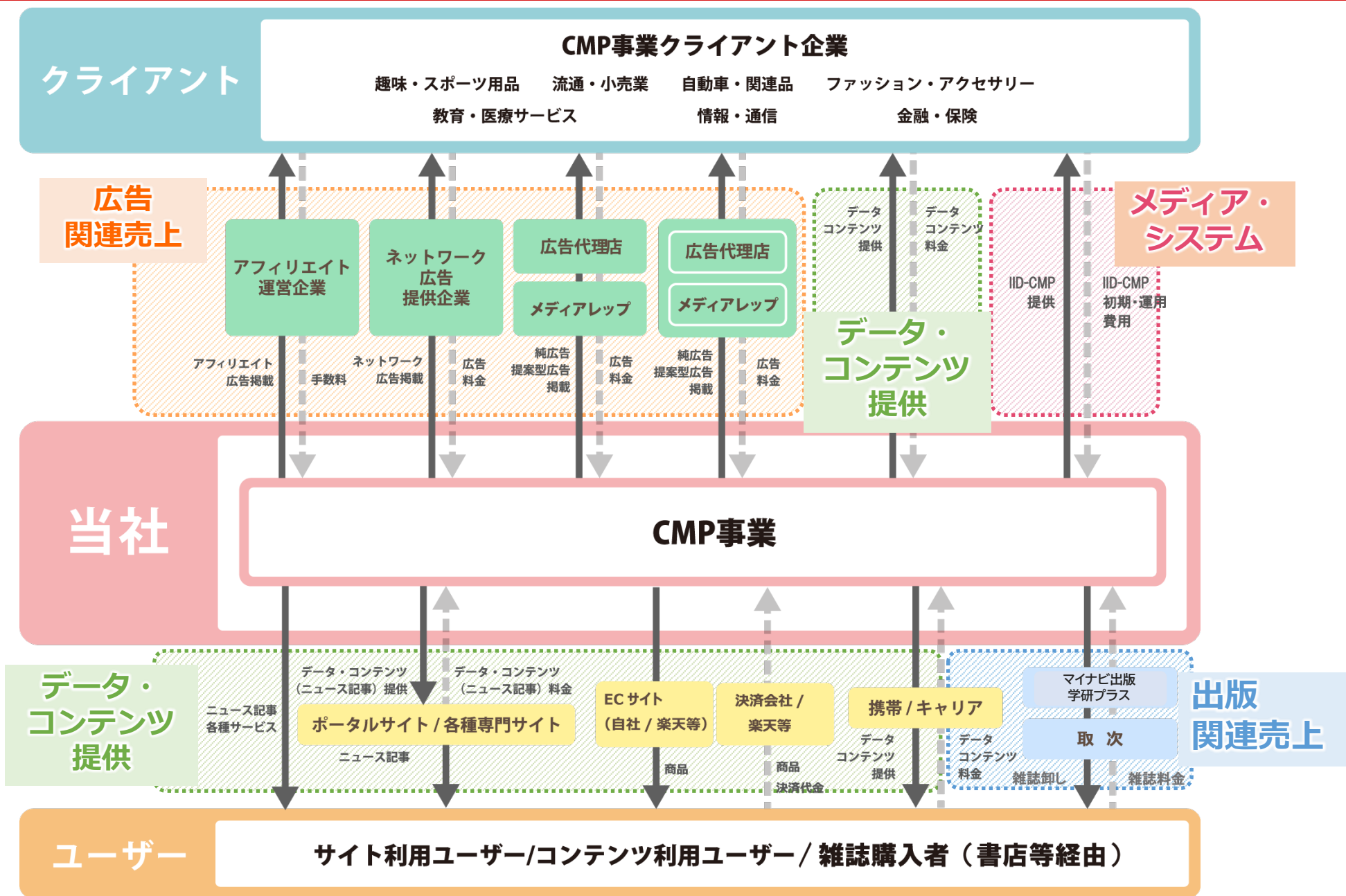
- 1 FY21_1Q業績の概要 P.2
- 2 新型コロナウイルスの影響について P.13
- 3 セグメントの概要 P.17**
- 4 基本情報 P.21

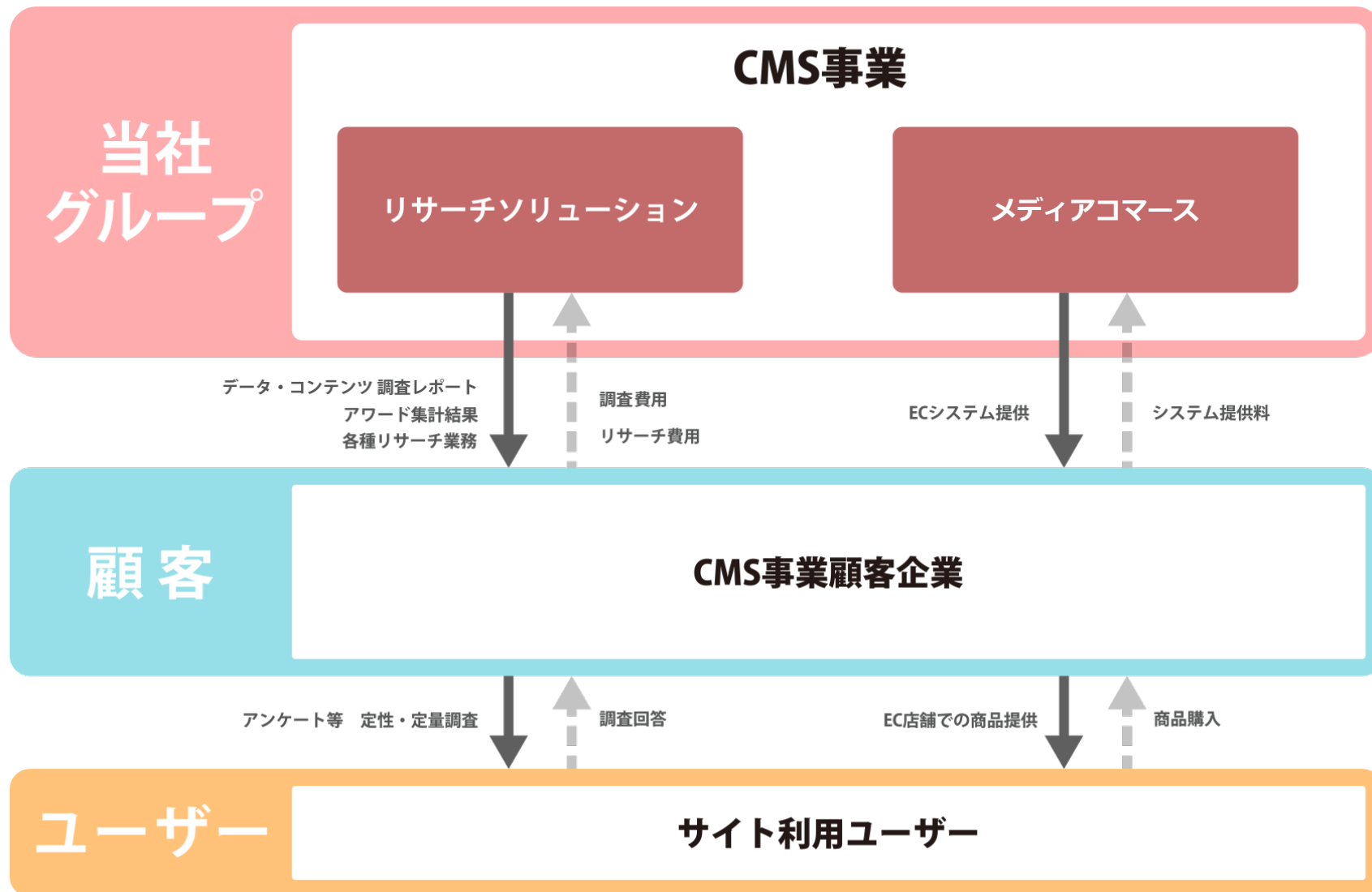
・ 2つのセグメントにて事業を展開

コンテンツマーケティングプラットフォーム事業（CMP事業）：Webメディア、Webサービス運営

コンテンツマーケティングソリューション事業（CMS事業）：ソリューションを提供









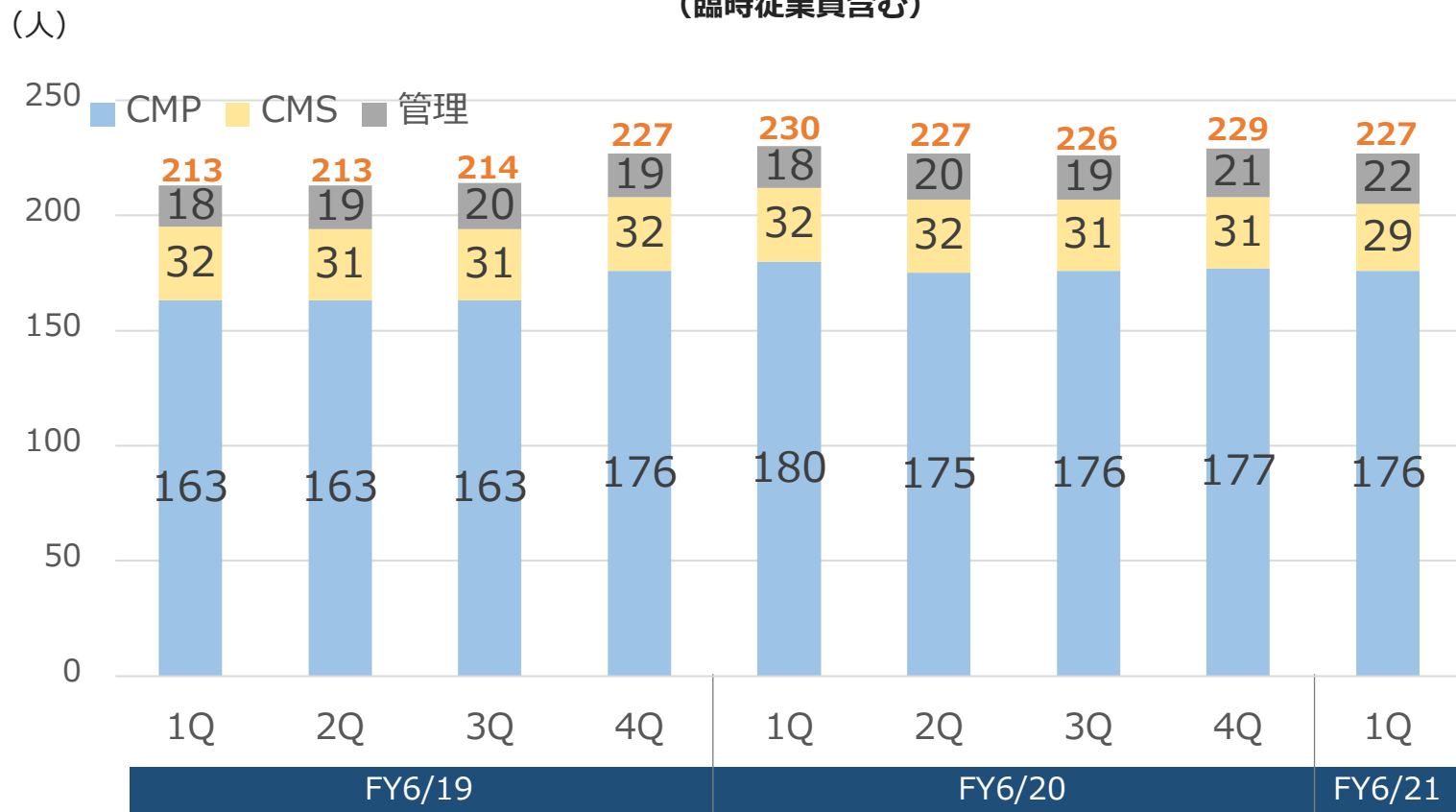
- 1 FY21_1Q業績の概要 P.2
- 2 新型コロナウイルスの影響について P.13
- 3 セグメントの概要 P.17
- 4 基本情報 P.21

- 商号 株式会社イード (IID,Inc.) ※「IID」は“Interface In Design”の略です。
- 設立年月日 2000年4月28日
- 役員
 - 代表取締役 宮川 洋 (みやかわ ひろし)
 - 取締役 須田 亨 (すだ とおる)
 - 社外取締役 大和田 廣樹 (株式会社ECBOスクエア 代表取締役会長)
 - 社外取締役 吉崎 浩一郎 (株式会社グロース・イニシアティブ 代表取締役)

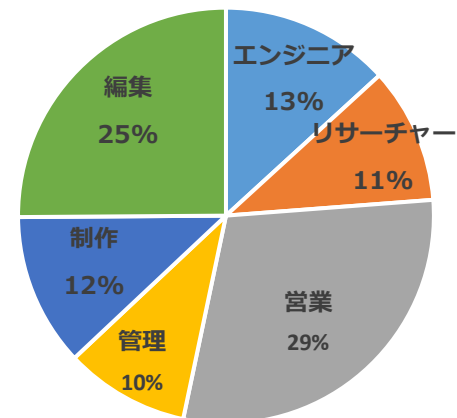
 - 常勤監査役 山中 純雄
 - 社外監査役 安達 美雄
 - 社外監査役 藤山 剛 (株式会社ラウンドアバウト・キャピタル 代表取締役)
- 子会社
 - 株式会社エンファクトリー (出資比率：78.8%)
 - Interface in Design, Inc. (同：100%)〔所在地：米国ロサンゼルス〕
 - 株式会社絵本ナビ (同：58.9%)
 - 株式会社ネットショップ総研 (同：90%) ※1
 - マイケル株式会社 (同：100%) ※2
 - ※1：2020年1月1日付で、株式会社ドリームリンクが株式会社ネットショップ総研を吸収合併し、合併後の社名を株式会社ネットショップ総研といたしました。
 - ※2：2020年6月30日付で、マイケル株式会社の全株式を取得し、子会社といたしました。
- 従業員数 連結：227名 (アルバイト含む)

・エンジニア、編集、制作で半数を占める構成

-セグメント別従業員数推移-
(臨時従業員含む)



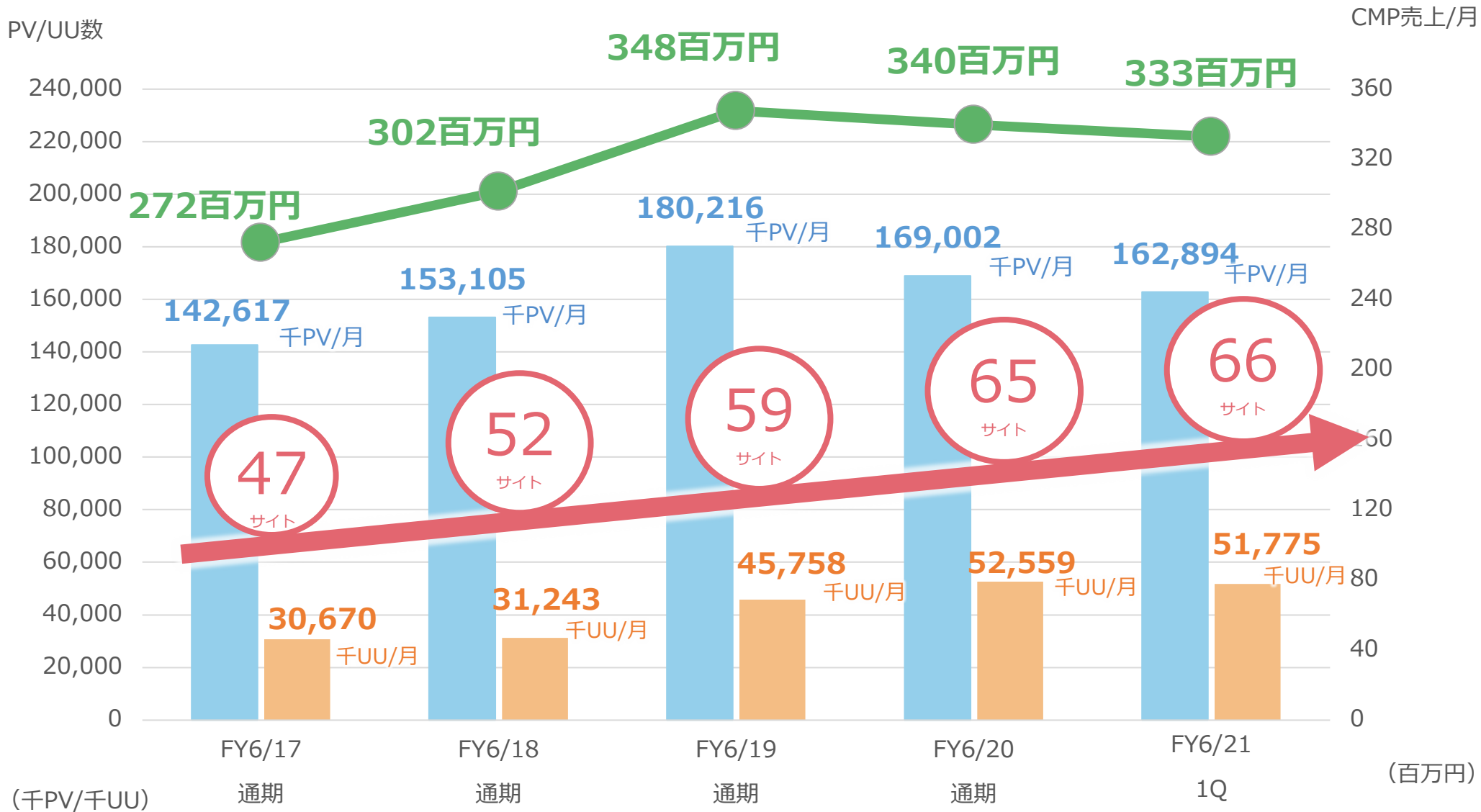
-職種別従業員構成-
(臨時従業員含む)



エンジニア	30
リサーチャー	24
営業	67
管理	22
制作	27
編集	57
	(人)

PV/UU・サイト数・売上 推移 ※FY6/21 1Q末現在

■ PV ■ UU ※PV数、UU数は対象期間月平均値
 ■ CMP事業（出版ビジネスは含まない）の月平均売上



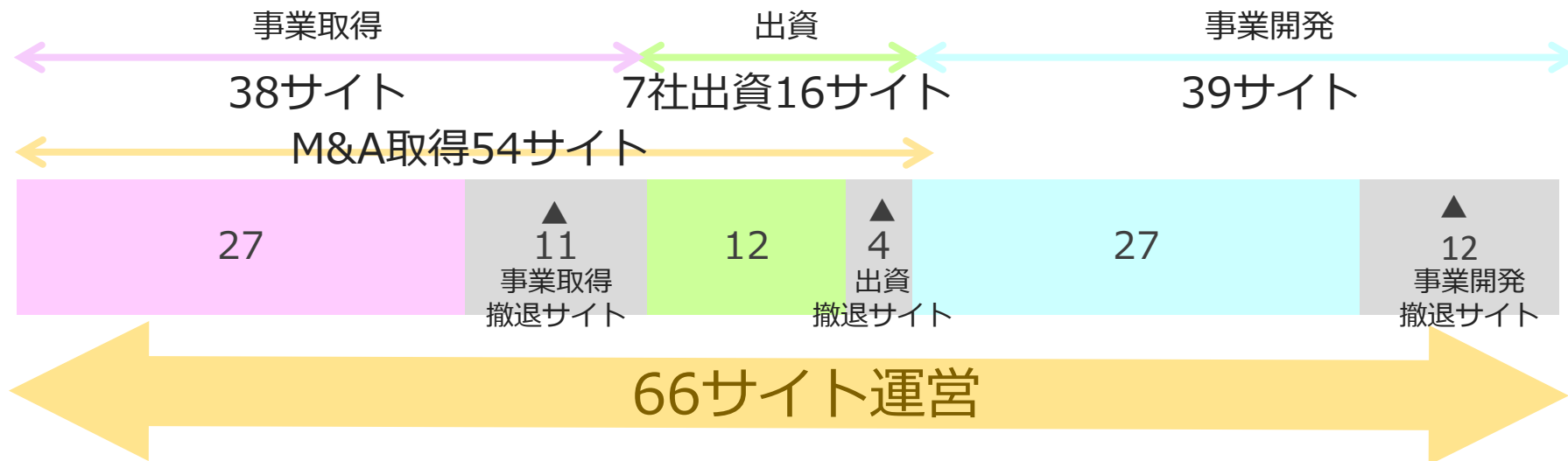
主要運営メディア



メディアジャンル

- IT
- ビジネス
- セキュリティ
- リサーチ
- ユーザビリティ
- 自動車
- 燃費・環境
- エンタメ
- ゲーム
- 映画
- アニメ
- キャラクター
- スポーツ
- 教育
- ライフ・ペット
- ダイエット
- 結婚情報
- マネー
- 地域情報
- EC・通販
- ビジネスマッチング

・ M&Aで54サイト取得。撤退サイトは15サイト。継続率 72.2%



● M&Aサイト実績

54サイトの取得総額は17億2,887万円。1サイト平均3,200万円で取得

事業取得総額 **9億2,359万円**

※撤退サイト含む

出資総額 **8億528万円**

※撤退サイト含む ※CMS事業及び出版事業は含んでおりません

● 戦略投資先 (抜粋)

新規事業領域での協業を目的に戦略的な出資を実施

- ・ note (株) : クリエイター向けC2Cプラットフォーム「note」を運営
- ・ キャンピングカー (株) : シェアリングエコノミー、MaaS領域
- ・ ロボットスタート (株) : 音声広告プラットフォーム領域

・ M&Aなどで新たに加わったメディアを「iid-CMP」にて運用

M&Aによる取得



新規事業開発



iid - CMP

イード・コンテンツ・マーケティング・プラットフォーム

集客

マネタイズ

ローコストオペレーション

コンテンツマネジメント

新規加入メディアの早期収益化が可能
効果的に顧客企業のコンテンツマーケティングを支援

・「iid-CMP」の4つの機能で、早期収益化を実現

① 集客

- ・ SEO施策
- ・ SNS対応
- ・ Webページ高速表示
- ・ スマートフォン含めた最適なユーザビリティ、ユーザーエクスペリエンス

売上UP

② マネタイズ

- ・ ネットワーク広告の最適化
- ・ 広告商品開発
- ・ 営業リソースの投入
- ・ イードメディアとのクロスセールス

売上UP

③ ローコストオペレーション

- ・ システムの共用、CPUリソース分散機能
- ・ ポータルサイトへのニュース記事提供フォーマット共有化
- ・ 記事交換機能

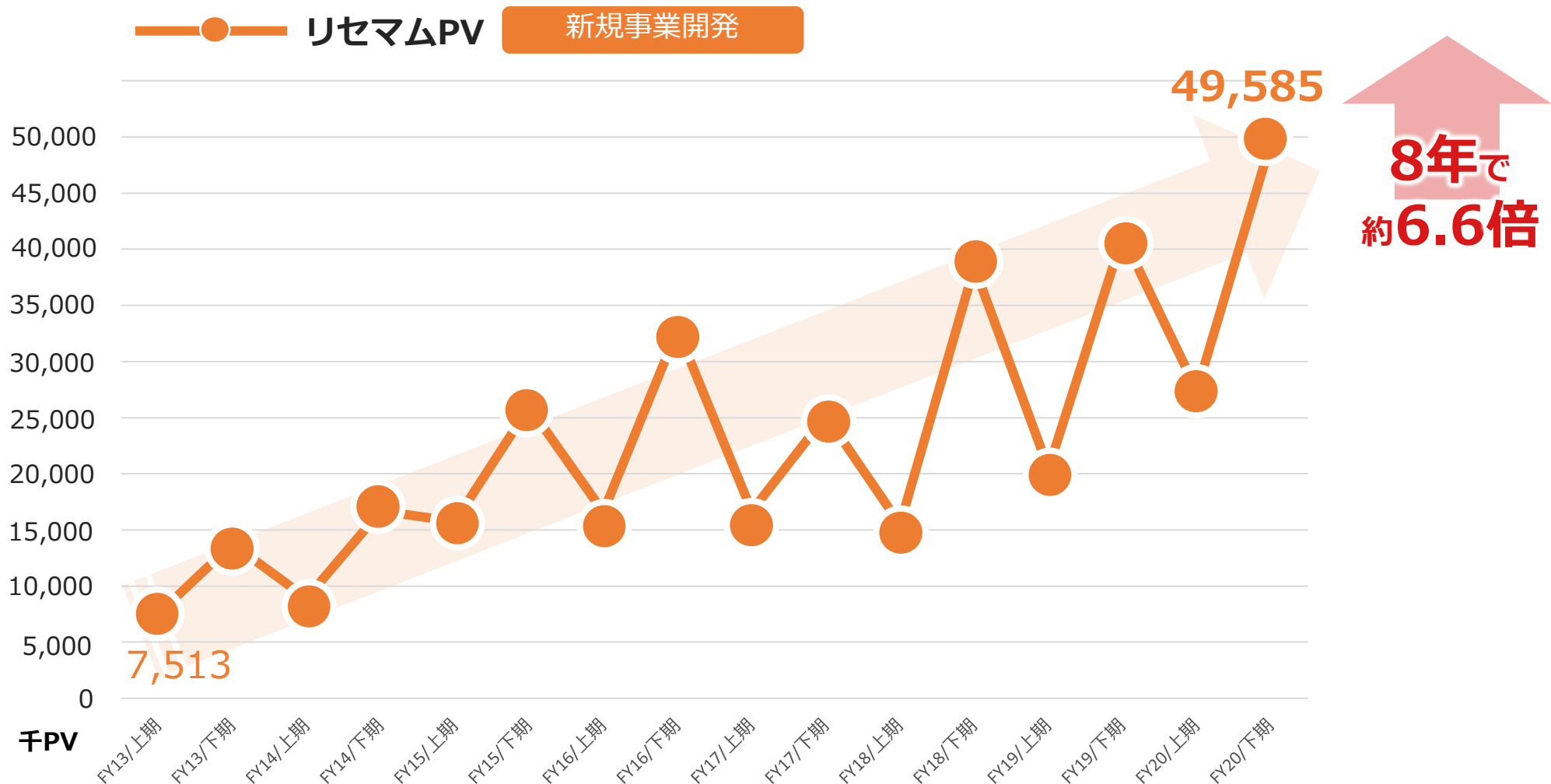
コスト最適化

④ コンテンツマネジメント

- ・ ニュース記事、ニュース写真投稿
- ・ 文章校正、類似度チェック、盗用コンテンツの公開防止

編集効率化

・「iid-CMP」上でのサイト運用によるSEO施策や記事交換機能等によりサイト規模が拡大



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報や判断に基づくものであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご了承ください。

本資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、その内容の正確性及び確実性を保証するものではないことをあらかじめご了承ください。

iiid

We are the User Experience Company.

株式会社 イード

www.iid.co.jp